

## 「学びの秋」

11月に入り、苓北は吹く風も強くなり、朝夕は冷え込んできました。児童生徒たちの体調にいつも以上に注意を払わなければならない季節を迎え、職員もインフルエンザ等の感染症の予防に留意しています。

11月2日には、はまゆう療育園の学育棟で公開授業研究会を開催しました。当日は、熊本市発達障がい者支援センター「みなわ」所長 幅 孝行先生に『重度・重複障がいがある児童生徒の学習から考える教育実践の在り方』～児童生徒の可能性を見だし、チームで伸ばしていくために～というテーマで御講演いただきました。



また、幅先生の御講演の前に、昨年度から本校が取り組んでいる研究について報告をしました。研究については、幅先生にもアドバイスをいただき、進めているところで今回は中間報告の段階です。来年度の研究会で3か年の研究のまとめを予定しています。

午後は、日頃の授業の様子を参観してもらいました。児童生徒たちは見慣れない先生たちにドキドキしながらも、集中して学習をしていました。その後のグループ協議では、参加者の方にも授業者の悩んでいることについて考えてもらいました。終日、研究について、授業について、いろいろな面からたくさんの御意見をいただき、重度重複障がいのある児童生徒の学習や生活を考える有意義な場になりました。御参加の皆様ありがとうございました。



9日～11日は京都で全国肢体不自由教育研究協議会がありました。ポスター発表では、本校の研究部長が公開授業研究会でも報告した「授業改善と教師の専門性向上を目指した学校システムの構築に向けて」のテーマで現在取り組んでいる研究をポスターにまとめ発表しました。多くの方が本校のポスターの前で足を止めて関心を示していただき、本校研究を推進していくうえで励みになりました。



高等部の生徒たちは14日から1泊2日で修学旅行に出かけました。見学地は天草市内ですが、楽しい経験がたくさんできたようです。参加できなかった友達へのお土産も買ってきてくれました。職員は生徒と寝食を共にすることによって、生徒の自立と豊かな生活について具体的に考えることができたようです。生徒も職員もこの経験をこれからの生活に活かしていってほしいと思います。

平成28年11月24日